

2021年6月

2020年度
「決算報告書」

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(添 付)

☆「計算書類」

- ・「貸借対照表総括表」
- ・「正味財産増減計算書」
- ・「収支計算書総括表」
- ・「財産目録」
- ・「附属明細書」
- ・「財務諸表に対する注記」

☆「監査報告書」

公益財団法人
全労連会館

「2020年度決算報告書」

「公益財団法人の財政管理」として、収入・支出とも「公益事業会計」「共収益事業会計」「法人会計」の3区分で予算を立て、同じ区分で決算をしています。

1 収入の部

①「会費収入」と「賃貸料収入」「貸車庫・倉庫収入」は、予算通りの収入となっています。

②「会議室収入」は、館内団体（公益事業団体）、外部組織（共収益事業団体）の利用数も新しい団体の利用などの増加もあり、全体では予算を大幅に上回りました。

③「教育事業収入」は、書籍の交換頻度を多くし、本の種類も多くするなどし、不明金も少なくなりましたが、売上数があまり増えませんでした。

④「印刷事業収入」は、外部団体、館内団体の利用が以前と比較すると減少傾向ですが、予算は上回りました。

⑤「雑収入」は、自販機売上マージンなどで、若干予算を下回りました。

⑥「持続化給付金」の給付を11月に受けました。

⑥ これらにより、今期の収入総額は、予算より296万円程多い

96,108,587円となりました。

2 支出の部

今年度も、財政活動の安定的運営を進めるために、予算枠内執行に努力をしました。その執行状況は別紙の通りです。

①「**管理費支出**」＝ 会館の維持管理にかかわる諸支出については、極力節約を心掛けて運営を行ない、ほぼ全て予算内で執行できました。

人件費と役員報酬、雑給（派遣者等の給与）とも、予算内執行となっています。

福利厚生費、諸会費、新聞図書費、中退金掛金、資料センター費は予算内執行となっ

ています。法定福利費は7月からの役員交代の影響で予算超過となりました。

旅費交通費が予算をオーバーしたのも、役員交代期の交通費増が主なものです。

②「事業活動支出」＝ 公益事業、共収益事業に関する諸支出費も極力節約を心掛け、1部を除いて大方予算内執行となりました。

渉外費、通信費、消耗品費、備品・事務用品費、事務費、修繕費、保険料、会議費、雑費は予算内に抑え、会館警備費、施設維持費は若干オーバーしました。

施設清掃費は年末特別清掃の関係（照明、ゴミ回収）で予算を超過しました。

水光熱費については9月開催の第34回理事会（9/30）において「10月より電気代単価を2017年3月時点での単価（33円）に戻す」提案が了承されましたが、下半期月平均額374千円に対し上半期平均が460千円で、結果的には約64万円の予算超過となりました。

租税公課は、2018年決算額は12,917千円に対し2019年度は13,465千円と、548千円増えています。会議室収入に関する消費税分は、収益事業収入の増加や消費税増税の影響によりおおまかな比較ですが昨年より290千円程度増えたものと思われま

す。なお制度上次年度予算の決定時期（3/下旬）が決算確定前であり、この点で予算との乖離は不可避的なものとなります。

③「特別支出」

㊦ 固定資産（備品）は、監視カメラの更新・増設、ルータ機器の更新で753,500円となっています。

㊧ 退職引当預金は、予算額150,000円を預金し、期中に347,084円の取崩しを行いました。預金利息は9円ありましたので、年度末の退職積立預金は、922,871円となっています。

㊨ 会館建設から18年目となり、予算通り530万円の修繕引当積立を行いました。

修繕積立預金の前年度末での残高は28,682,683円となっておりましたが、今年度積立てた530万円と預金利息319円をプラスして、修繕積立預金の年度末残高は33,983,002円となりました。

㊩ 2014年に全労連から借りていた2000万円は、4月末日までに返済しましたので、会館建設時から18年を経て、全ての借入金が無くなったこととなります。

④ 今期は未払い法人税 1, 158, 600円を支払います。

消費税は中間納付額699,500円でしたが、確定税額分が 1,975,500円となりましたので、今期 1, 276,000円を支払います。

⑤ 以上の結果、今期の経常支出総額は、94,633,457円となり、特定資産取崩益、法人税を含め当期の収支差額は、663,286円のプラスとなりました。

その結果、前期繰越金 74,316,780円と合計すると、次期繰越金は、74,980,066円となります。

3 「減価償却費」について

今期減価償却の処理は下記の通りです。

	今期計上額	累積計上額	除却資産の累計額
前年度迄の累計		393,978,548円	
今年度減価償却額	18,033,468円	412,012,016円	0円

4 「貸借対照表」「財務諸表に対する注記」「附属明細書」「財産目録」

(別 紙)

5 「監事監査報告」 (別 紙)

(以 上)